京城日日新聞



社說

革新號に題す

釋尾春芿

従來本社は余と、青柳、眞繼兩君との共同經營に屬せしが何人か一人に於て經營するを本社の維持發展を圖る上に好都合なりと考へ、三人協議の上、青柳眞繼の兩君脫退することゝなり、余一人其責任に當ることゝなりしなり、其事情と內容は去る十四日の本紙に發表され、又去る十二日の本紙に社告の出でし通りなるを以て此に繰返すは煩はしき譏りを免れざるも、革新號と稱する以上は革新の事情に就て一言無きを得ざるなり。

……り、兩君各自、奮勵かざるにあらざるも、經濟上の事情は其れを許さざる如く、頗る難色あり、此間に處して本社は一時市に賣物に出されたと迄喧傳され、終に一二の買手迄出て親しく余に交渉し來ると云ふ有樣にて吾人は世人嘲笑の包圍中に在る如く感ぜられたり、於此余は斷然決心せり、本社の維持經營は如何に困難なりと雖も、折角奮闘し來りたる本社を他人の手中に讓るは遺憾なるのみならず男子としての面目に關し、且つ創立當時の同情者に對しても、面目無き次第なりと考へ、余獨力經營の決心を青柳眞繼の兩君に諮りし所、兩君は喜んで之に應じたり、於此三人は祝杯を擧げて笑の間に協定を終り、吾人は心持ち善く相別れたるなり。

革新號に寄す

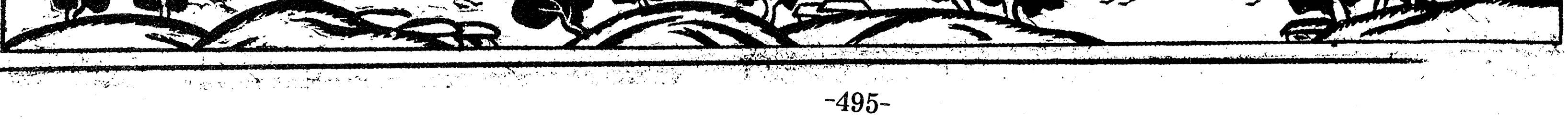
京城新聞社長　青柳南冥

京城日日組織革新に際して

釜山日報京城支局長　眞繼義太郎

電話　編輯　營業
發行所　京城日日新聞社
發行兼編輯人　印刷人

祝革新



内外電報

倫敦に再び暴動起る
赤旗を翻し不穩の演說

十九日夜群衆はウエルスグラモアザンシヤートニエバンプ街附近に集合して暴動を開始し赤旗を翻して不穩の演說をなし遂に投石するに至りし結果警官は棍棒を揮つて突擊して解散せしめたり衝突に際して暴徒若干負傷したり暴動に加はりたる炭坑夫は五百名なり(倫敦來電)

英炭坑罷業の爭點
勞働黨政府を强壓せんとす

勞働者組合會議及勞働黨の議會院内委員會は政府をして炭坑夫罷業問題に關する從來の考慮を悉く撤回せしめ該協議會を開きたるが速かに炭坑夫組合員及政府側の代表者を召集せしめんとして百方政府を强壓し居れり他方政府は勞銀の增加は石炭産出額の增加を必要條件となさゞるべからずとの見解を持して下らずと解せらる然れども若し坑夫組合側にして該條件を承認するならば政府は喜んで新交涉を開始すべしと信ぜらる新聞協會の關知する所に依れば炭坑夫組合各地代表者等は倫敦に於て開催さるゝ會議に召集せられたり炭坑夫罷業の結果全英國運輸從業者組合員及聯合國各國組合員會を加へて四十萬人は失業せり(倫敦來電)

政府既定方針固守
妥協點の發見困難

勞働者側に於てアハチマリル選出勞働黨議員ケンス氏の下院に於て試みし演說の結果頗る形勢を樂觀し氏の演說に依り近々政府との交涉開始せられ妥協の前途又好望ならむと觀測せられしか右の希望は首相ロイドジヨーヂ氏の演說の爲め粉碎されれて首相ロイドジヨーヂ氏は曰く政府は豫て提議し置きたる條件を固守せむとするものなり賃銀の增額は産炭量の增加を基礎とするものならざるべからずと首相の演說はケレフ氏の討論後特に議事に附せられたる上述べたるものなり勞働組合會首領は曰く首相ロイドジヨーヂ氏の演說は罷業解決に對し毫も貢獻する所なりしと(倫敦來電)

英政府不信任案否決

英國議會は二十日ロイドジヨーヂ首相の愛蘭政策に關するヘンダーソン氏の不信任案を投票に問ひたる結果三百四十六票對七十九票にて政府の勝利に歸せり同票の通過には前首相アスキス氏及セシル卿等亦大に應援する所ありたるも遂に及ばざりき二十一日には失業者問題に關するアダムソン氏の政府不信任案提出さることとなり居れり(倫敦來電)

社會基督敎捷利
墺太利總選擧の結果

十七日擧行されたる墺太利國總選擧の結果社會基督者の勝利に歸せり今日迄多數を以て政權を保存し來れる社會民主黨は基督者の下風に立つに至れり之事實上共產黨の全滅なり(巴里來電)

外國の干涉を俟つ
陳軍廣西軍戰鬪繼續

陳炯明軍と廣西軍との戰鬪は繼續され居れるが消息通の談に依れば双方共に外國領事團が自派に有利なる干涉調停に出づべきを豫測し互に勝手なる事に出て居れりと稱せらる廣東人は英領事は莫榮新氏に同情ある行爲ありとも稱し居れり(廣東來電)

歐亞局長任命

二十三日の新令を以て外務省官制中改正せられたる結果左の通り亞細亞局長及歐米局長の任命ありたり(東京電)

正五位勳三等芳澤謙吉任外務省亞細亞局長 全歐米局長(二等)

兩銀行合併前提

滿洲商業及安東銀行合併の先驅として在奉天兩支店先づ事務の合併をなすべく藤平本田の兩氏來奉中なりしが愈々二十三日より安東銀行支店を閉ぢ商業銀行支店及出張所にて執務を開始したり(奉天來電)

綠色部隊飛躍
露國電報局發

最近クリミヤ半島より歸還した某氏の語る處に據ればウランゲル軍の脫退者より成る綠軍部隊は目下ウ將軍の部下を盛に殺戮しつゝあり、而して反ウ軍の勢日に加はりつゝあるを以て最近數個所に於てウ將軍との間に大衝突を來したりと云ふ赤クリミヤ半島へ石炭の輸送は全く杜絕されたるにあり同地方の住民は非常なる窮境に陷りたりと斯の如き狀態に於てウマレゲリ政府はクリミヤ半島へ石炭の供給を小額に許したるだけ獨逸側代表者は之を拒絕せりと

獨逸の極東政策
支那に着目

一般に考慮し居れる所にして…

當然過ぎる

日本は當事國也
東支鐵道回收問題に就て
蜷川法學博士談

獨逸武器買收

淡紅色化せる歐米
戰後の經濟界と思潮の推移
勝田前藏相歸朝談

浦鹽石炭缺乏

外人土地所有法案
改正行惱み今議會に不提出乎

勞働運動

戰時狀態

米の資金

正貨增加す

不逞鮮人規定

機宜に適

勅語謄本下附

釜山水產活況

還元か現狀維持か
近く運命を決する鮮鐵移管問題

交涉進行中

契約改訂と

當時の主旨

此際同鐵道

官有財産に就て(下)
於官有財產主任打合會 郡營繕課長述

三 官有財產取扱の沿革

四 官有財產整理の狀況

五 結論

私鐵協會議演會

豆油界不振

建築界槪觀

鴨綠江水電

警戒すべき反動期(上)
貸出回收困難と預金增加

取付騷ぎ

只管着力

綿糸商聯合大會

一面エキス

仁川より

資金需要

人事

風塵錄



◀蘆の花野に風淋しき渡しかな▶

陸軍秋季機動演習

機正に熟し 戰雲京畿の野に漲る

北進する奥田旅團 南下する岩崎旅團

接戰地は水原附近乎

二十四日午前八時三十分 森特派員報

漢江左岸

高地原に

冠岳山の

鐵道線路

騎兵衝突

賊團日に窮迫す

討伐各隊邁進 生擒─擊攘─鹵獲─

光輝ある討伐隊の戰況 軍司令部公表

東支隊主力

木村支隊方面

磯林支隊方面

江岸附近

自然の要害老黑山

不逞の巣窟を覆滅せんとする我軍の作戰振 決報近きにあらん

…に判明せず陶道尹…(龍源來電)

齋藤大佐の首に三萬圓の懸賞金

間島不逞鮮人窮餘の一策 日本文武官の暗殺を劃つ

演習行軍開始さる

滿洲駐屯軍

振つた珍選擧

選擧人一人で投票も立會も

…なく二十五日の選擧が選擧を行ふ譯で選擧の如く村長管理で二名が必要である、所が投票人と立會人ともなり…なのだから已むなく…に明文によつて午前三時まで選擧場を開…

駐屯軍々旗祭

秋季招魂祭 奉天に擧行

四川軍不意に重慶を襲擊し 李烈鈞敗走す

虐殺倘熄まず光景轉た慘憺 雲南軍殪るゝ者三四百名

流彈米領事館を見舞ひ 英國軍艦砲擊を開始す

四川第五混成旅團及第三師團の前衛突如通遠門朝天門の二城內に進入し秩序維持の任に膺れる李烈鈞部下を襲擊殺害せり李烈鈞氏等は不意の應戰の遑なく各品は敗走せるが今朝雲南軍の屍體三四百を發見せり警備雲南第八旅團長蘆自參氏は慘殺され四肢斬碎され居れり又四川軍は城門を破壞に閉鎖し逃る雲南兵を見當り次第銃殺しつゝあり李烈鈞は米國領事館に遁走せり米國領事館に多數の流彈飛來右館員は死亡せり此の際英國軍艦は砲擊四十分に亙り…家未だ門を閉ぢて光景轉た寂寞を極む日本領事も邦人經營の旅館遊來館を包圍せる四川軍の撤退をなさしめたり(東區來電)

當年四十

鳥致院の火事

二十一日午前二時頃當地吉野町前…

露國帝政の復活

ニフラス廢帝の學友で

を熱心に劃するラブオエコ氏

突如東京に姿を現はす 重大使命とは果して何?

露國皇帝ニコラス二世の式部官であつたラブオエコ氏は露國帝政の復活を畫策し日本政府の援助を得る爲來朝目下橫濱の某所に潜在して居るが兩三日中に

內田外相

及田中陸相を訪問する筈である同氏を迎へえた露國領事館入井顧問官は語る「同氏はクリミヤ戰爭當時英佛艦隊を全滅した有名なる將軍ラブオエコ氏の孫でニコライ二世の學友であつた軍人を志願して陸軍に身を投じ近衞大佐に累進し前皇帝に仕へて居つたが皇帝の意志に反し

諫言を試

みた爲逆鱗に觸れて軍官職を抛ち佛國にたつたが二月目にロマノフ家は危機に瀕したので皇帝はラブオエコ氏の諫言を容れ勅使を同氏の許に派して軍政大改革を一任する爲陸軍大臣の榮職を以て迎へたのであるが勅使との面談を避けて之を拒絶したが一ケ月經たぬ內に露國は解體したのである其の後ケレンスキー政府樹立に附し同政府に

叛復を飛

したる爲數ケ月間監獄に繫がれ釋放後八百萬留の資産を孫に讓渡しコルニコフ將軍を擁して帝政の復活を畫策し昨年四月頃日本を經てオムスクに入り同志を糾號して時機に至るを待つて居たのであるが今回重大使命を帶び徒步で波蘭に入り英佛から來朝したとのことである氏は當年四十一歲六尺豐かの肥大漢にして有名なる志士として露國の知識階級に認められて居る云々(東京來電)

背任罪で訴へらる

東商重役

東亞商務取締役倉知次郎作以下數名は會社拂込金三百五十五萬圓を橫領せること發覺し同社株主より背任橫領の告訴を提起されたり

と(奉天來電)

何が何やら薩張り解らぬ

奬忠壇の會合

去二十一日午後三時頃より奬忠壇の密林中に京城專修學校生徒約百名許り集合して何事かを協議し或る四時散會せり…者は立ちて一場の演說を試めりとて其筋にては早速取調べにかゝりしに其後一向に夫らしき證據上らず尙目下嚴重に眞相を探索中なるが其節二名の者が谷間に於て怪しきものをなし居たるは多分寫生をなし居たるものならんと謂ひ何となく狐につまされたる氣味なり

京中秋季運動會

府內西大門町京城中學校にては二十四日(日曜)午前九時より第四回秋季運動會を開催し頗る盛會裡に午後…

疑問の左手 義太藝妓梅若 (上)

干柿の樣な掌の來歷

目を眠らして切開した

「其手で歎す」皆の鼓でも小よの三十年增。可哀相なは此妓で御座い親の祟りが報つたか藝妓になしの樣に指のない妓もあれば梅若の樣に干柿の樣な左手をした女もある。義太藝者梅若と云へば吉田家と言ふ置屋の名迄言はなくても「へ、アあの妓か」と首かれる押しも押されもせぬ流行妓の一人。

三拍子

揃つて迄とは行かなくても客に「惚れられ盛り」くてはならぬ左手が御覽の通り干柿同然。之には深い仔細と迄は行かなくても相當知つてやらねばならぬ哀れな話が介在して居る。四月十五日の朝の事朝寢の床から拔け出た梅若が平常の樣に鏡臺の前にベタリと坐つて特別稽古の恩…

亂髮を

掻き上げ樣と髮に觸した左手の拇指ピリツとしたかと思ふと何時の間に出來たか豆粒大の糸ダコが破れて赤い血が流れて居た。干柿の導火線が卽ち夫れであつて梅若は何氣なく其儘に葉つて置くと明けて十六日の晩頃には御座敷へ出て彈く三味線の調子にも差支る樣な痛み方に御座敷をもソコ〳〵に歸つて來たが十七日の朝には腫まり腫て旭町二丁目の瀨戶醫院に診察を乞ふに至つた。當時瀨戶醫院では瀨戶院長が病氣のため寢込んで居つたが

代診

醫師が「之は大した事もない少し痛いが辛抱おしなさい」と梅若の眼を眠らして置いて譯もなく、化膿しかゝつた梅若の掌を淡泊と切開して終つた。「ア、痛かつた」と大袈裟に繃帶し…

四十度

近くの發熱迄起して其後左手は全く上げ下げが出來ない程の疼痛方に「之は大變」とばかり梅若スツカリ青くなつてしまつて早速總督府病院に驅け付け診察を受けると「糸ダコ」が之れは丹毒だ」と聞かされて震へ上り二十日午後其儘總督府醫院に入院した。翌二十一日午前には外科部長自ら小刀を採つて梅若の手術に取かゝつたが「マアあの位

痛い目

にあつた事はない」と梅若は今でも身震ひして當時の模樣を語つて居る。)

軍服が近く改正

色は青茶地で 英佛の長所を採り

肩章を廢し袖章を附す

元來我陸軍の服裝を佛の茶褐色を採合せ自動車運轉手のものは靴に定めたのは歐洲戰爭當時滿洲西伯利亞に擬標された爲で軍服の色合も土地の自然色と合致せしめたものである今迄の歐洲戰爭以來數々の

新戰術が

出來て將來は必ずしも滿洲のみで戰ふとは限らぬ殊に空中からの偵察なども顧慮して軍服改良案は既に久しき以前から論議されてゐたが最近二三の改正案も出來て尙慎重研究中である今陸軍被服本廠で研究材料として作られてある

改良軍服

色は稍青味を帶びた卽ち青茶色の綿紗地で熱帶地はダブルとし之に階級と兵種別の符號を左右に附し釦は金色で五個ポケツトは左右の胸と上着の下端とで何れも外部は膨らむやうに縫がとつてある肩章は廢して階級は普通の軍服の如く袖章とする軍帽も同色の綿紗で庇は褐色乃の強い黑色のエナメルを塗らず牛皮を茶褐色に染めたもの帽の徽章は現在の此儀兵のそれの如く櫻に包まれた星章とし以前よりは幾分か鮮やかになる以上は

英佛諸國

の軍服の長所を採つたもので將校の分は三寸の帶が縫つけにバンド式のものであるが外套被服は從來西伯利亞派遣軍に支給したもののやうな山羊皮の失敗に鑑み惡その他に就いて研究中で何れも議論の激しい綿紗で就寢勤務者の分は二重に綿紗

師範中學教員に年功加俸

文部省にては第四十二議會以來の輿論に鑑み師範學校中學校教員に對しても小學校敎員と同樣年功加俸を給與することに決し該案起草中の所此程脫稿し兩三日中に官報を以て公布さるべし而して師範學校敎員に對するものは勤續加俸と稱し中學校敎員に對するものは年功加俸と稱し給與率は俸給額に依りて高低あるも大體小學校敎員と同樣なりと(東京來電)

高女音樂會

市內南山町京城高等女學校にては昨二十四日午後一時より管樂演奏會を催したるが歌曲は全部日本及歐米の名歌詞の粹を拔き花の如き少女の口より吐唱となり伴奏或は合奏となりて滿堂醉へるが如く午後四時半盛會裡に閉會せり

仁川秋季種痘

日割と場所

仁川府本年度秋季種痘日割は左の如く決定し每日午前九時より午後四時まで施行すべしと

廿六日 場所 牛角里 牛角里普通學校 金谷里

廿七日 同 松林里 松峴里

廿八日 同 花平里 松峴里 新花水里

同 花平里巡査派出所

廿九日 同 花川數島町柳町桃山町

卅日 同 華嚴寺 內里外里栗木里龍里

一日 同 鄉港寺 山根町一圓

二日 同 中根町尋常學校 新町濱町寺町宮町

三日 同 竹園館 本町一手町海岸町仲町

四日 同 本署劍道場 萬香、松坂、花房、港、支那町

同 檢疫事務所

獨逸で發見された 延命長壽の秘法

試驗の結果成績上乘

スタインナハ敎授の新に發見せる能に關した內分泌の働きを研究した若返り法は非常に多數の贊成者を得たり、重立ちたる專門家は殆ど日々講演を催して、スタインナハの理論を辯護しつゝあり有明なる伯林の專門家の云ふ所に據るに、動物に對して行へる試驗を充分に綜合するに、其結果は彼等を若返らしめて、延命の効あることを證し未人間に就ても上乘の成績を得たりとあり、右の方法なるものはユーゼの消耗にありと云ふを根據とせるものなり(伯林來電)

人である、人間の老ゆるは生殖機能が衰へるからで老いて衰へるのではないと報告して居る、併し之は新しい說ではない此の事に關しては佛國の大家ブラオンセール氏も七十歲の老年を以て右の若返り法を研究して居たが、矢張りスタインナハ氏と同意味の意見を立て、己れの一部に犬の精分を注射して、大に効果があつたと報告されて居るが、夫れは今から二十年も前の事であつて、此說は一時人の注意を引いたが確實に證明されなかつた、思ふに今回のス氏は此考へを受繼いで研究したものであらうが果して確實に證明されるか

佛國大家の研究を受け繼いだものらしい

永井博士談

右に關し東大醫科永井潛博士は語る「スタインナハ氏は曾て生殖機…

新町の娼妓に修養の講話

乃木將軍の幕僚たりし休職陸軍將校浮田某氏は忠魂無比なる乃木…何らか疑問である」

劍道大會の賞品

京城黃金町陣之內虎雄氏の經營に係る武德館は今十月を以て創立第八週年に相當し二十四日第八週年記念武德館劍道大會を擧行したる由るが同大會優勝者に對する賞品として左の通寄贈ありたりと

一 中太刀作 定銘刀 壹振 朝鮮軍司令官 大庭二郎

一 若狹守藤原多廣 刀 壹振 刀劍商 陣之內吉次郎

一 筑前法師 自消刀 壹振 刀劍商 天國居 中谷久吉

一 魚鮨刀 壹振 刀劍商 竹內八百太郎

一 メリヤスシヤツ 壹組 刀劍商 中村武市

木將軍の逸話を傳へて近來著しく衰退せる世道人心の頹廢に資する目的を以て來る二十六日午後一時より先づ新町遊廓の內鮮人娼妓のために該組合事務所に於て一場の修養談を試むべしと

一力の豪遊客は小切手僞造犯人

本月十七日仁川遊廓一力樓方に十三日より娼妓今奴を相方として流連し居る店員風の男あり擧動不審の爲め任意同行取調たる所同人は仁川府新町二十六番地津田光藏京城支店明治町二丁目雜貨商店の雇人原籍京都市下京區松原通り大和大路東弓矢町六十二番地鹽見太郎弟鹽見裕之助三〇にて本月十一日午後一時頃所持主人が所用ありて預ひ手提…金庫中の商業銀行小切手一枚を竊取し主人名義にて七百圓を記入捺印の上商店に該金を引出し自己の爲め三日靜養したしと言葉巧に主人を欺きて外出し其足にて新町遊廓第一樓に登樓十三日迄流連の後仁川に來りたる者なるが贓金は第一樓にて百五十圓又一力樓にて二百六十圓其他洋服帽子シヤツ靴紐指輪等に消費し殘金六十圓懷中し居るのなるが目下有價證券僞造行使犯として留置取調中なり(仁川)

社會の罪か己が罪か

浮かぶ瀨もない藝者サン

─白拍子は帝の前にも召された 今は酒席の玩弄物か惡鬼の犧牲─

美しい奴隷の數か九萬人

ロオマに行けばコロシヤム、ロンドンに行けば大博物館、日本で士産は「ゲイシヤ・ガアル」。これは日本の藝者は名高いものである所謂名物である。名物に旨い物なし、今藝者の起源から調べて見るに、奈良朝の頃に

遊行女

と云ふものがあつて、名ある泊りに艷麗な姿を誇つてゐたことは確かである。鳥羽帝の御治世には、平家が殿上人のあまた、酒の內外に殿上一時に

加はり武士も町人も歡天下泰平の風に醉ふて遊興氣分に耽溺してゐた。遊藝の名ある女は水郷に都へ上つて歌舞らじと能を操らし、洛中洛外る處に歌舞音曲の歡聲を充たして、宛ら風花に醉せる陽春の有樣であつた。此の頃の

舞妓は

いかにも上品で性も頗く正しいもので、中にも妓一と云はれたのは平相國太政大臣宗盛の前と云つて和歌の前と云つて美しく

白拍子

と云ふ名がついたのであつた。其後時代の變遷と共に段々と舞の藝者と云ふ風に化けて來たもので勿論容品も素裝も變化の道を辛して來たのである。白拍子は內に召されて和歌の前と云ふ名前を賜つた位である。其頃は立烏帽子、水干、白鞘卷の刀を差して舞ふたので之を男舞と云つたが、降つて祇王祇女と云ふ美人が出た頃、卽ち平相國淸盛が專權を極めた時代には立烏帽子も刀も捨てゝ白い水干ばかりで舞ふたから

我等も遂には佛なり、いづれも佛性具せる身の、隔つるのみこそ悲しけれ」と云ふのは祇王が淸盛の前で歌つた長唄歌である。隔つるこそ悲しい。然し乍ら、遊興の玩弄物として卑視され、酒席の玩弄物として(よし)

浮ぶ瀨

なき奴隷には雖、またと返らぬ人の寄もあたら無慘な惡鬼の犧牲として終生を日陰者となつて送り、又は特殊部落者扱にされるのは、一體社會の罪か己が罪か。大正元年末の調査によれば日本全國の藝者は四萬二千あると云ふ、其後次第に增加して現在は九萬を越ゆると云ふ少くはない、その九萬の美しい奴隷は、平等であるべき人の生命を、誰のために犧牲にするのか。政府が

公娼を

公認する、衆より好からう。人權を保護し生命の安全を計ることに勿論苦情はないだ君で、堂々たる紳士の行ふ傲慢なる日本の法律の有無さには、未だ傳的習慣を取締まる條文は無いるべき法律は無いのである(かず)

フイルム

●大正館の 不思議の眼

原名「ザ、アイス、オヴミステリー」

破浪漢の弟の娘カルマを引取つて靜かな晩年を過してゐたクインシイ、カミチエール氏は、カルマが再び之の父なる惡漢の手によつて奪はれてアうと間もなく死んでしまつた。老人の遺言によつて之の財産を相續すべく、友人ローイ、グラムと共に古い邸に還入つた、ジヤツクター、ヒユーンは、先づ奥の間の像畫の眼が動いたので少からず驚いたが、夜になつてヂヤツクが怪物屋敷の樣な邸宅の一間に寢入つてゐる時、キラリと閃いた刀は危矢と見えた時、突然枕元の家具類が引繰り返つた。物音に驚き醒めたジヤツクは、飛び起き樣に轟然一發、拳銃を射つた、濛々たる煙の中に怪しの人影が消え去つて、床の上には點々たる血の滴りと女の髮に挿すピンが一本あつた事件は益迷宮に運入つたが、彼等を覗つてゐるのは少女カルマの父と言ふ惡漢ローガーと其の部下であつた

一方カルマは無賴漢ローガーの許に奪はれ、一時は亡き伯父の遺產を相續すること云ふジヤツクには幾分の反感さへも持つて居たが、一夜惡漢共の密々話になつて彼の女の父知つて彼の女の父を殺した犯人であると言ふ事が少かつた。カルマは遂に逃れてジヤツクの許に奔る 惡漢共はカミチエールの遺言を聞…

…んだが勝敗は何れとも定まらぬうちに先づジヤツク一味の矢種が盡きて三人は惡漢共の手に捕虜にならうとした時、伯父クインシイの急報によつて馳付けた警官の一隊に、惡漢は逐々自滅カルマには惡漢共を呼び寄せる爲め故意と死を裝つて還した伯父クインシーは遺言狀を書いたのであつた端役ではあるが、ジヤツクの友人ローイ青年が一番に働いてゐた面白い寫眞である。唯面白いと云ふ丈である

最後に眼鏡をかけた若い辯士の方に物申す。君の上方辯は遙に堂に入つてゐるね。氣障な前口上は拔きにして、君はあの生醉ひ表を發揮して行き給へ。京城には君の樣な辯士も是非一人は必要かも知れぬ

○…緞帳…○

▲壽館 梅若會廿六日目の竹本奈良彌の淨瑠璃會は廿五、五六七の三日間每午後六時より入場無料で廿五日の語物は▲野崎村(一聲)▲河渡八(千島)▲三日九(利雲)▲蝶八(南水)▲いざり勝(吉吉屋梅若)▲大十又助住家(春)▲伊賀八(冠笑)▲太十文字屋(兒雀)▲太十(皐月)▲合邦(喜笑)壺坂寺(如○)

小栗判官 照手姫 （百八）

旭亭櫻山口演　晩舟速記



彼江捜索の評議中、一同の男たちも山氣味が悪いから、皆々何かに固まつて居る内に、旦那は風だと思ふと一遍に黒雲が起つて參つて、ポツ〳〵降り初めた雨が、見る〳〵盆を打明けるやうな有様となり、オドロ〳〵と鳴り出したる雷の音が、眼に稲妻の閃光を刺すやうな閃光、これには一同の連中も閉口致して、今は彼江など捜して居る所ではございません、丁度幸ひ岩窟のやうなものがあつたので、其中へ入つて暫らく空を見合せて居ります、後藤兄弟の連中の言ふ事を聞いて留まりさへしたなら、斯らいふ事になりも致すまいのに、殘念であつた、併し彼江殿を失つてしまつては、

く誠に心持ちが悪い、どうか致して捜さなければならん、早く雨が歇めば可いのう」ところが此雨歇むどころか、益々其日一日降つて了つた、モウ夜分になつたから仕方がない、其處に是だけの者が夜を明す事になりました、夜が明けると幸ひ雨は歇みましたが、其代り又悦々と日が照付いて大「又今日は暑いな、どうも此暑さでは堪まらん、どうしやう」兵「どうしやうと云つても何うもならん」是れだけの連中も方針が定まりません事ゆゑ、彼方へ行つて見やうか、此方へ行つたものかと評議區々の處へ、トツ、トツトツと聞える足音、五六人の獵師がやつて來て、不思議さうに一同を眺め○「貴客方は何です、可怪しな所に固まつて居るぢやありませんか」次「吾々は旅の者でござるが、昨日旋風に出逢ひ、同伴者を一人失つたので、其れを捜さうと致して居る内に、再び起る旋風、旋風を避けると彼の大雨大雷、どうも避ける所がございません、見ると此

處に岩窟があつたので、其中へ入つて夜を明かし、今日は幸ひ此の旋風に攫られた者の行衛を是から捜さうと思ひますので」○「ア、さうですか、水上村の五左衛門さんを山賊か何かと間違へて其の留めるのを肯かなかつた人達だね」次「如何にも左様で」○「五左衛門さんは正直な人だから、大變貴客方を怒つて居なすつたぜ、貴客方は宜くないね」次「唯今お話致した通り思ひ違つたのだから致し方がない」○「旋風で行衛が判らなくなつたと云ふのは男か女か」次「イエ女で」○「ア、ハテね、可哀相に女ですか、彼の旋風に遇つちや少し堪まらない、巻き上げられて何れ何處かへおつ落ちたんだらうが命はありやアしません

此の山中で何處へ巻上られ、何處かへ落とされてしまつたか命の助かつて居る譯はない、殊に大蛇も居るから、多分其の餌食にでもなりましたらうよ」兵「併しマア餌食になつたといふまでも捜して見んければならぬ。お前さん方は何處へ是から行くのだ」○「私は是から處に行くのでございます」兵「水上村の五左衛門と云ふ人は何處に居るのか」○「其れは水上村へ行けば宜いので」

演藝案内

朝鮮郵船